

# 平成25年度 全国学力・学習状況調査の結果概要

～ 8分類中6分類で全国平均を上回る ～  
 小学校国語で大きく上回り，中学校数学では課題も  
 平成25年度全国学力・学習状況調査の結果

## 1 調査実施校数及び児童生徒数

■ 悉皆調査

○ 福岡市全体

- ・小学校 145校 第6学年児童 約12,700人
- ・中学校 69校 第3学年生徒 約11,400人 総計 約24,100人
- ・特別支援学校で通常カリキュラムを履修している児童生徒については，状況に応じて個別に実施

## 2 教科に関する調査の結果

○ 小学校の国語A，B問題と算数A，B問題，及び中学校の国語A，B問題の6分類で全国平均を上回る。中学校の数学A，B問題は全国平均を下回る。

### (1) 調査結果の概況

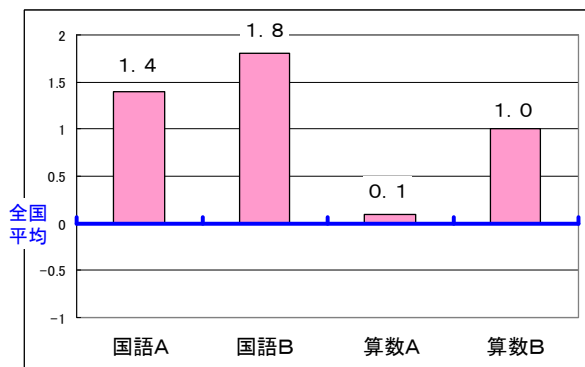
小学校調査		国語A	国語B	算数A	算数B
福岡市(市立)	平均正答率	64.1	51.2	77.3	59.4
福岡県(公立)	平均正答率	63.2	49.1	77.2	58.7
全国(公立)	平均正答率	62.7	49.4	77.2	58.4
福岡県との比較		+0.9	+2.1	+0.1	+0.7
全国との比較		+1.4	+1.8	+0.1	+1.0

中学校調査		国語A	国語B	数学A	数学B
福岡市(市立)	平均正答率	76.8	68.1	62.7	41.0
福岡県(公立)	平均正答率	75.4	66.5	62.0	39.8
全国(公立)	平均正答率	76.4	67.4	63.7	41.5
福岡県との比較		+1.4	+1.6	+0.7	+0.2
全国との比較		+0.4	+0.7	-1.0	-0.5

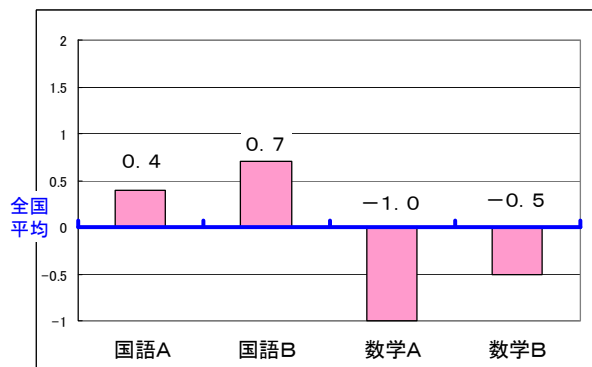
※平均正答率…平均正答数を百分率で表示したもの

### (2) 全国と福岡市の平均正答率の比較 ※全国の平均正答率を0として福岡市の平均正答率と比較

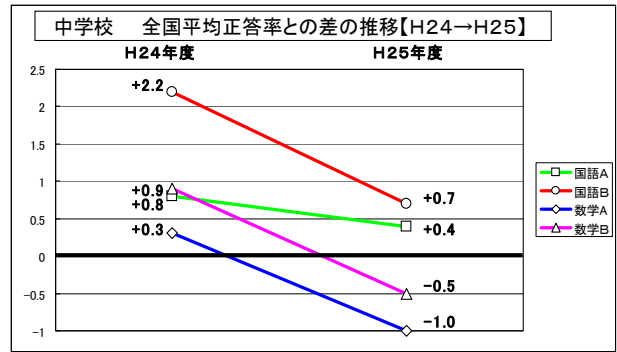
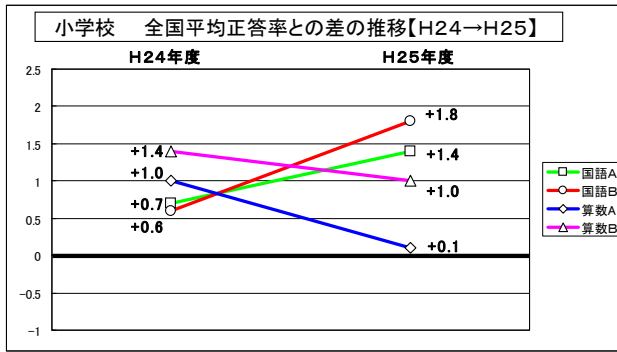
【小学校】



【中学校】



### (3) 各分類毎の全国平均正答率との差の推移



- 平成24年度と平成25年度の全国平均との差の推移では、小学校国語A（知識）が前年度比0.7、国語B（活用）が前年度比1.2ポイント向上している。
- 小学校の算数A（知識）、算数B（活用）及び中学校国語A（知識）、国語B（活用）においては、前年度に比べ低下しているものの全国平均を上回った。
- 中学校の数学A（知識）、数学B（活用）においては、前年度全国平均を上回っていたものの、数学A（知識）が1.3、数学B（活用）が1.4ポイント低下し、全国平均を下回った。
- 最も向上した分類は、小学校国語B（活用）で+1.2ポイント、逆に最も低下した分類は、中学校国語B（活用）で-1.5ポイントである。

### (4) 各教科・分類の状況（本年度の正答率に見られる顕著な状況）

校種	教科区分	正答率が高い問題	正答率	正答率が低い問題	正答率
小学校	国語A	漢字を正しく読む	99.1	接続語を使って1文を2文にする	23.8
		接続語のもつ働きを理解する	83.3	文の定義を理解する	36.7
	国語B	相手の立場や状況を感じ取る	81.4	複数の内容を関連付けて書く	17.7
		話し手の意図を捉える	69.3	必要な内容を引用して書く	28.9
算数A	曲線部分を測定する計器の選択	96.9	1 a の面積と同じ正方形の1辺	49.0	
	16 - (6 + 4) の計算	94.4	単位量あたりの大きさ	49.3	
算数B	情報を元にした位置の特定	93.6	比例関係についての理解	36.6	
	説明に対応する図形の選択	88.5	分割の仕方とその説明	42.5	
中学校	国語A	適切な語句の選択	96.7	適切な語句の選択	46.1
		行書を楷書で書く	96.3	比喩を用いた表現	49.1
	国語B	文の展開に即した内容理解	81.0	課題の決定と情報の収集方法	58.1
		表現の仕方とその効果	76.9	文章の構成や表現の特徴	59.3
数学A	与えられた図形の拡大図	87.3	関数の意味理解	15.2	
	( ) を含む乗法の計算	86.7	ヒストグラムと相対度数	23.1	
数学B	表から情報を生かし処理する	69.3	式から事象を理解し表現する	23.0	
	資料から情報を読み取る	68.4	資料の傾向を捉え説明する	23.3	

※ 上記の問題については、正答率上位、下位それぞれ2つである。

〈本件に関する問い合わせ先〉

教育委員会指導部

学校指導課長 中村 浩三

TEL 092-711-4638

FAX 092-733-5780

(内線 3710)